

プレミアムIOLの光と影

日時

10月12日(金) 17:40~18:40

会場

G502第9会場

(東京国際フォーラムガラス棟)



【座長】

荒井 宏幸 先生

みなとみらいアイクリニック

「光ある所には影がある」は普遍の真理である。

近年、多焦点眼内レンズが開発され、国内においても加速度的に普及し始めている。80歳を超えて眼鏡を使用せずに生活可能という、人類史上かつてない技術であり、その恩恵は計り知れない。しかし、適応の曖昧さ、開発メーカーの思惑、医師の経済的観点などが相まって、真の技術の評価は混沌としている状態である。

今回は、通常の学会で語られることのない「影」の部分にも焦点を当て、多焦点眼内レンズという技術に対する正しいスタンスを議論する。「IOL選択の光と影」を森井勇介先生に、「患者選択の光と影」を木村格先生に、「先進医療の光と影」を杉本栄一郎先生にご講演頂く。3名の先生方は、今後の国内における屈折矯正自内障手術をリードする中堅の先生方であり、こうした新世代の先生方が多焦点眼内レンズに対してどのようなスタンスを持って取り組まれているのかを拝聴できることも非常に興味深い。

多焦点眼内レンズに対する考え方や、今後のスタンスを再確認するための貴重なセミナーとなることを確信している。当セミナーは眼科先進医療研究会が主催であり、企業や医局のバイアスが一切なく、忌憚のない議論が可能となっている。多くの先生方に参加して頂き活発な討論が展開されることを願っている。



講演1

IOL選択の光と影

森井 勇介 先生

森井眼科医院



講演2

患者選択の光と影

木村 格 先生

木村眼科内科病院



講演3

先進医療の光と影

杉本 栄一郎 先生

すぎもと眼科